

定例会議

令和8年度予算など 58件可決・同意

令和8年3月市議会定例会議は、3月2日から27日までの26日間にわたり開催されました。

定例会議初日に、令和8年度一般会計予算など議案50件及び報告1件が市長から提出され、このうち1件については、同日に採決を行い、原案のとおり可決しました。6日から3日間にわたり行われた代表質問には、会派を代表した5人の議員が登壇、10日から5日間にわたり行われた一

般質問には、13人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問がなされました。16日には、総合計画まちづくり基本ビジョンの計画期間変更の件を審査するため、総合計画まちづくり基本ビジョン審査特別委員会を、令和8年度予算に関する議案を審査するため、予算特別委員会をそれぞれ設置しました。最終日の27日には、追加議案が8件提出されたほか、各委員長報告、討論、採決が行われ、提出された議案については、いずれも原案のとおり可決または同意されました。



予算審査

令和8年度一般会計予算 1,245億円を審査 ～予算特別委員会を設置～

3月定例会議では、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、令和8年度予算を審査しました。各常任委員会と所管を同じくする分科会により詳細な審査を行った後、議場で全体会の総括質疑を行い、その後、令和8年度予算について可決すべきものとする採決を行い、定例会議最終日の本会議において可決されました。



予算特別委員会

委員長 小松 良行 (真政会)
副委員長 丹治 誠 (公明党)

緊急会議

総合経済対策など4件可決・承認 ～2月3日緊急会議～

2月3日に緊急会議を開催し、令和7年度一般会計補正予算などの議案4件を審査し提出された議案は、すべて可決または承認されました。

【概要】

物価高騰対策「みんなの暮らしエールパッケージ」として、市民生活を支援。住民税非課税世帯に対しては、1世帯当たり1万5千円の生活支援特別給付、市民全員に1人あたり5千円分のクーポンを千円で

総括質疑の内容の一部

問：スポーツホームタウンにぎわい創出事業費について、令和8年度に予定している活動内容は。
答：福島ユナイテッドFCとの包括連携協定に基づき、ホームゲームのうち1試合を、実・湧・満・彩福島市ホームタウンデーとして開催し、アトラクションやブース出店、イベントなどを実施する。また、ホームゲームのシャトルバスをユナイテッドと連携して運行し、交通アクセスの向上を図る。さらに、まちなか広場では、スポーツやグルメ、音楽などを楽しめるユナフェスを開催し、中心市街地の活性化を図るほか、高校生年代のサッカー大会やアウェーゲームのパブリックビューイング、小学校での出前授業などを開催する予定である。

令和8年度予算の概要は、市ホームページにも掲載されております。→



購入できるプレミアム付きクーポンを販売し、同じく物価高騰下での生活支援と地域経済の下支えを図る。

また、事業者への支援として、中小企業などに対しては県の3万円に上乗せし、労働者1人あたり1万円を支給するとともに、保育施設等に対する物価高騰支援を行う。

加えて、安全・安心なまちづくりを推進するため、通学路等安全対策などの令和8年度当初予算に計上を予定していた公共事業を前倒しして実施することとし、総額25億1,800万円余の追加補正予算が可決されました。

このほか、衆議院議員選挙執行に関する補正予算の専決処分が承認されました。